

ミャンマー訪問報告

2018.8.22

東京ライオンズクラブ

会員・出席委員長 L 追原 篤男

清藤会長・追原L森田L杉山Lの4名で8月2日～5日ミャンマーへ訪問致しました。

- 1、 ヤンゴン LC チャーターナイト出席 (2018.8.3)
- 2、 ヤンゴン LC との姉妹提携締結
- 3、 ヨーグァ小中高一貫校訪問 (65周年記念事業で贈呈したコンピュータ教室)の授業見学
- 4、 5、福岡LCが12年間継続支援しているお寺学校と、孤児院同行訪問

1、ヤンゴン LC チャーターナイト

ミャンマー連邦で最初のライオンズクラブ(ヤンゴン LC)のチャーターナイトが挙行されました。福岡 LC さんが6年越しで連邦政府と国際協会に申請し、7月4日ラスベガス国際大会でヤンゴン LC ミン・ウイン会長と福岡 LC 瀧野 L が登壇し、グッドラン国際会長からクラブ結成認定書を賜りました。

8月3日ヤンゴンのノボテルホテルにてミャンマー政府関係者・経営者、日本からは山本幸三・藤丸 敏 衆議院議員、丸山一郎ミャンマー大使やスポンサークラブの福岡 LC 22 名ほか約 300 名が列席し、不老元国際理事から認定書の伝達と盛大なチャーターナイトが行われました。東京 LC は、民際センターさんを通じ長年ヤンゴン郊外のヨーグァ学校の生徒に奨学金支援をしてまいりました。2年前65周年記念事業に福岡 LC さんにご協力を頂き、LCIF 資金を使い、ヨーグァ校にコンピュータ14台を寄附し教室を設けました。子供達がコンピューター教室を卒業した後、日本企業等に就職することで、貧困の連鎖から脱却してもらう事が目的の継続的な支援活動です。

3年前の福岡国際大会で開催されていた福岡 LC とヤンゴン LC 準備委員会の歓迎会に追原 L が参加したことから福岡 LC とヤンゴン LC とのご縁に繋がりました。

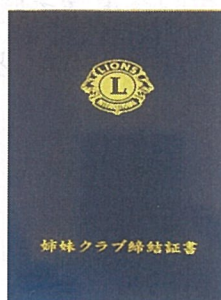
元々仏教国で喜捨の習慣がある国ですから、今後多くのライオンズクラブが結成され、ライオニズムと、ライオンズクラブの大きな発展が見込まれます。

懇親会では NHK 大河ドラマ「西郷どん」の「大河紀行」にてテーマ曲歌唱しているサラ・オレインさんが翌日の孤児院訪問も含めてボランティア出演して頂き、素晴らしいバイオリンと歌で観衆を魅了されました。



2、ヤンゴン LC との姉妹提携調印式

式典に先立ち、福岡 LC の立ち合いのもとヤンゴン LC と東京 LC が姉妹提携を致しました。東京 LC は 50 年前からその国で最初に結成された台北、マニラ、ソウル LC とのみ姉妹提携をしてきました。ヤンゴン LC はミャンマーで最初に結成されたクラブなので、このご縁を後世に伝え、相互のクラブの変わらぬ友情と、相互理解を目的とした姉妹提携を結びました。



3、ヨーグア小中校一貫校訪問

雨季の為道路が冠水し、道路がデコボコで大渋滞でしたが、2 時間かけて2年ぶりにヨーグア校を訪問しました。校長は転動していましたが、新校長もライオンズクラブからのコンピュータ教室支援を喜び、出来ればプロジェクターがあればもっと生徒に教えやすいとの要望がありました。生徒たちはコンピュータに慣れ、様々な作業が出来るようになっていましたので、2～3 年後が楽しみです。持参したお菓子とノートのパレゼントに大喜びをしてくれました。前は軍人か学校の先生になるのが子供たちの夢と聞きましたが、PC 勉強のせいでしょうか今回は経営者や技術者などに変わっていました。将来の夢を聞き感動の時間を持ってました。



4、ダンマラキッタ寺院学校訪問

福岡 LC は 12 年前から寺院付属小学校や孤児院への資金援助を行い、2008 年の巨大サイクロン被災時には緊急医薬品や資金援助、救急車の寄付をされてきました。2010 年にはヤンゴン市ダゴウ地区(貧困地区)に急増する児童を收容・教育出来る新校舎を建設しました。500 坪の用地を購入寄贈し、その後定期的に教育資材、運動用具を寄付されています。その学校はお寺が経営し、約 400 人の生徒が在籍し、多民族が在籍しています。当日は民族舞踊や歌で大歓迎、同行したサラさんの歌とバイオリンに感動していました。



5、ヤタナボン・イエキネン孤児院 訪問

イエキネン孤児院はヤンゴン市内にある 4 歳から 16 歳までの男子を收容する施設で、公立ではあるが国からの支援は少なく、しかも物価高で食糧確保に苦勞をされています。福岡 LC は長年定期的にお米を寄付し食糧支援を継続されています。当日は東京クラブのメンバーも些少のドネーションを致しました。戦争や人種問題で両親と離れた子供たちは多民族の為、ミャンマー語を話せない子供も多く、笑いを忘れた子供たちがサラさんの音楽を聴いたり、シャツやお菓子のプレゼントで、最後には微笑みが少し戻ってきました。今後はヤンゴン LC の孤児院支援も始まり、孤児救済に大きく貢献されるでしょう。

但し、女子の孤児收容施設は尼寺しかなく、国や社会からの支援は少ないので、今後の大きな課題になっていました。

